

令和8年9月3日 令和8年度第2回県立学校長会 大石教育長挨拶

暑い夏でしたが、近畿インターハイを多くの補助員の生徒や先生方の御協力の下、無事に終えることができました。一昨日、大会で優勝された選手のみなさんの表敬訪問を受けました。インターハイに出場するだけでも素晴らしいことなのに、日本一になれるのは並大抵ではないと思います。また先週は、約1年にわたりPRや応援に徹してくれた「わっしょい倭」のみなさんに、感謝状をお渡ししました。勝利を目指し、自分の限界に挑戦するアスリート、それを支える仲間、また大会を支える側として、受付や案内、会場整備や選手のケアをしてくれる補助員、そのすべてを応援する「わっしょい倭」のみなさん。直接お話しする機会をいただきましたので、何かを前に進めるとき、リーダーの存在は大事だが、フォロワーの存在も同じように大事、これからの人生、リーダーになるときもあればフォロワーになるときもある、役割を理解して頑張してほしい、何よりひとを応援できるみなさんは素敵だと申しました。みなさん、充実した表情で、活動や経験が人を育てるのだと改めて感じた次第です。選手のみなさん、補助員のみなさん、御指導いただいた校長先生方をはじめ先生方にも感謝申し上げます。

また、秋田で開催された全国高総文祭の総合開会式、いくつかの部門の激励もさせていただきました。8月20日には高校生議会がありました。代表生徒のみなさん、御指導いただいた先生方に、お礼を申し上げます。また、教員採用試験では、複数の学校を会場としてお借りし、おかげさまで明日、結果を発表する運びとなりました。改めて感謝申し上げます。

先週、東京で開催された「N-E.X.T.ハイスクールキックオフフォーラム」に参加しました。冒頭、「AI時代を生き抜くための高校教育の在り方」をテーマに、ソフトバンク㈱常務執行役員兼 CHRO コーポレート統括の源田泰之氏と、FC今治高校学園長で元サッカー日本代表監督の岡田武史氏との対談がありました。岡田氏は「子ども自身が自己決定すること」が大事で、「教員は『この子の人生を何とかしてあげよう』と抱え込むのではなく、『この子が自分の人生を歩むための手伝いをする』というスタンスに立つことが大切。対話は重ねるが、最終的に本人が自分で決めなければ、うまくいかない時に他人や環境のせいにしてしまう」と話され、源田氏も「当事者意識やキャリアオーナーシップをどう育むかは、企業にとっても非常に大きな課題」と応じておられました。これは日頃私が口にして、「学校は長い人生という旅を歩くための旅支度の場合」、「生徒に裁量を」と方向性を同じくするもので、我が意を得たりという思いで聞いていました。

また、山梨県、長崎県から発表があり、山梨県は「これまでの学校は自前主義で、全てを自分たちで解決しようと抱え込みがちだった。今後はもっと学校を地域や社会にひらき、外部の力をどんどん取り入れる必要がある。世の中の変化に敏感な外部人材を招き入れる姿勢が重要だ」と話され、長崎県は「急速な人口減少や過疎化に伴う教育格差といった課題に直面する中、地域で実際に『稼いでいる』プロと学校を結び付け、生徒に魅力的な将来像を示すことが必要で、高校教育から地域産業までを一気通貫でつなぎ、若い世代が新しい産業へと意欲的に挑める流れをつくりたい」と話されていました。私が課長補佐を務めていたとき、機械科でDMG森精機さんと一緒にカリキュラムやテキストを作ったことや、奈良南高校で進めていただいている地元人材、プロに学校教育に入ってもらって「社会とつながる教育を」という取

組も同じベクトル上にあると自信をもちました。

第1回の校長会でも触れましたが、文部科学省は今年2月に示した「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）」で、令和8年度中に各都道府県が「高等学校教育改革実行計画」を策定することを求めており、その実現のためのパイロットケースとなる改革先導拠点を創設する基金を造成しました。本県は残念ながら第1次申請では採択されませんでしたので、先月、改めて申請を行ったところです。その取組によって今後構築する財政支援の仕組み、「高等学校教育改革交付金」をもって実行計画の着実な実現を支援する、と書かれています。この交付金は、来年度予算の概算要求で特別枠「強く豊かな日本投資枠」に入っており、具体の金額のない、いわゆる「事項要求」となっていますが、情報筋によると、1千億円規模とのこと。また総務省でも、今年度から令和13年度までを事業期間として元利償還金に対する地方交付税措置のある「高等学校教育改革等推進事業債」を創設することとされ、これも1千億円規模の発行を想定した試算が示されています。県の財政当局との折衝を経てこれらを活用することで、高校の学びのアップデートとともに、それに伴う校舎・設備などのハード整備を行いたいところです。

「高等学校教育改革実行計画」の策定に当たっては、校長会の代表の方を通して御意見を伺いますが、高校教育の大きな転換点に立ち会えることを前向きに捉えていただけますよう、先生方にもお伝えください。

Facebook を設立したマーク・ザッカーバーグはハーバード大学を中途退学しているのですが、そのハーバードの卒業式に招かれ、スピーチを行ったことがあります。そこで、彼自身の好きなエピソードとして紹介したのが、J.F.K が NASA の宇宙センターを見学に行った時のことです。ほうきを持った職員を見て、あなたの仕事は何かと尋ねたところ、その清掃員は「私は月に人を送るお手伝いをしているんです」と答えたというのです。ザッカーバーグは、「目的とは、自分が自分自身よりも大きなものの一部であるという感覚であり、必要とされていて、働いた先に何かもっといいものがある、という感覚だ。目的こそが、真の幸福を生み出すのだ」と述べています。「誰かがやるのではなく、あなたがやるのだ。ただし、自分が目的をもつだけではなく、他の人たちにも目的意識をもたせなければならない」とも言っています。「高等学校教育改革実行計画」による取組が奈良県の子どもたちを幸せにする。校長先生方だけではなく、教職員のみなさんにも目的を理解していただき、みなさんのモチベーション、パフォーマンスが上がるようにお願いします。

実行計画に則り、スクールミッションに照らして勤務校の経営をどうしたらよいか、なかなか見えにくいかもしれません。ザッカーバーグは、「やってみるまで誰にも分からない。アイデアも最初から完全な形では出てこない。取り組んでみて、初めて明確になる」「You just have to get started. (とにかく始めてみなければなりません。)

もし始める前に、人と人との繋がりについてすべてを理解していなければならなかったとしたら、私は Facebook を作ることはできなかったでしょう。大きなビジョンに取り組んでいる人は、最終的には正しかったとしても、変わり者だと呼ばれる。複雑な問題に取り組んでいる人は、前もってすべてを知ることは不可能であるにもかかわらず、課題を完全に理解していないと非難される。率先して行動する人は、先を急ぎすぎだと批判される」と言っています。実行計画が見えてきましたら、各校の御事情も踏まえて教育委員会事務局が伴走しますので、その準備のためにも、今、高校教育に、学校教

育に何が求められているのか、校長先生方も文科省の「高校教育改革に関する基本方針」を再度お目通しいただき、御理解、御協力いただきたいと思います。

長期休業が明け、電車の中も生徒でいっぱいになりました。この時期は、子どもたちの心身の状況や行動に変化が現れやすくなります。児童生徒の様子に細心の注意を払い、対応していただくよう改めてお願いします。また、管理職の先生方には所属の職員の方の様子も見ていただき、日々のコミュニケーションによるケアをお願いします。もちろん、校長先生方御自身のケアを大切にさせていただきますようお願いして、あいさつとします。